一山（いち）まちづくり協議会 to ぎかい

つどいの広場 いちやま・プレイスのスタッフの皆さんに聞きました

取材の日は、子どもたちがクリスマスツリーのオーナメント作りに励んでいました。おやつはおいしいチョコバナナクレープ！

12月20日に行われたクリスマスコンサートでは、ヴァイオリンとピアノの演奏に聞き入りました。

山田地区の「一山まちづくり協議会」は、香取市まちづくり条例に基づく、市民協働によるまちづくりを進めるため設立されました。当協議会の事業の一つに、子どもの居場所づくり事業があり、地域の子どもたちが一緒に遊び、学び、体験する場を提供する「つどいの広場　いちやま・プレイス」（以降　いちやま・プレイス）の活動を行っています。今回の特集では、議会広報特別委員会がいちやま・プレイスにお邪魔して、スタッフの皆さんにお話を伺いました。

Q　いちやま・プレイスを立ち上げた経緯を教えてください。

渡邉さん…平成30年度末に第一山倉小学校が閉校になって、まちづくり協議会が第一山倉小学校に向けて実施していた運動会への参加、小学校での観劇、卒業記念樹の贈呈などができなくなりました。その後の新型コロナウイルス感染症の流行で、まちづくり協議会の活動ができない状況が続いたんですが、コロナ禍が落ち着いた頃、地域の子ども会から「子どもが減ってきて、今までのような活動ができない」と言う声が聞かれるようになりました。そこで、まちづくり協議会が子ども会活動の受け皿として何かできないか考えて、ここ（新里コミュニティセンター）に子どもたちが集まれる場所を作ったらいいんじゃないかという発想にたどり着きました。

一山まちづくり協議会事務局長
渡邉　しげ子 さん

Q　大学生の参加は一人ですか。

渡邉さん…石橋葵さんを含め全部で3人です。石橋さんはよく来ていただけるので、とても頼りにしています。

Q　子どもたちやお手伝いの方は、お願いしてではなく自然に集まって来るんでしょうか。

渡邉さん…最初に子ども会とか、児童館にチラシで周知をしました。ほかには、クチコミが結構あったと思います。誰々ちゃんのお母さんから聞いて来ましたっていう話をよく聞くので。

Q　行事のプラン作成に、ご苦労されていませんか。

林さん…渡邉さんの持っている人脈きるんですか。

渡邉さん…地区を特に分けることはないと思います。みんな学校に行けば同じ教室で勉強している友達ですし、沢山来ていただいた方が賑やかでいいと思います。

Q　大学生の石橋さんは栗源地区の方ですが、携わることになったきっかけは何ですか。

石橋葵さん…渡邉さんのご主人と一緒の先生の元でお茶を習っていて、自身も山田地区に関わる機会が増えたことと、親戚が山田地区にいて、特に祖母の家には子どもの頃から何度も行っていたので、親戚の住まいがある山田地区に思い入れがあります。

石橋　葵 さん

隣にある保育園では、保護者の方がお迎えに行っても、子どもたちはすぐには帰らないで遊んでるんですよね。遊ぶ物がなくても、外でただ駆け回ったり一緒に触れ合って、それだけでも楽しくてずっと帰らないで遊んでるので、みんなで集まれる場所を提供してあげるだけでもいいのかなと思いました。その後、令和5年度の一山まちづくり協議会総会で承認され、6月から事業を開始しました。

石橋学さん…渡邉さんから、子どもの居場所づくりをやりたいという話があって、子どもたちが来なかったらやめちゃえばいいって、そういう軽い感じで始めたんですが、始めてみたらクチコミで広がって子どもたちが増えていって、色々な人が手伝ってくれて、どんどん大きくなっています。

一山まちづくり協議会会長
木内　健司 さん

渡邉さん…始めるにあたって、参考のため東高円寺にある子ども食堂の活動内容を見学させていただきました。その際、代表の方に、私が迷っている話をしたら「ダメだったらやめればいいじゃない。そんなに難しく考えることないじゃない。お金とか場所がなくてできない人って沢山いるけど、お金も場所もやる気もあって、これでやらない理由ってないんじゃないの」って言われたんですよ。あ、確かにって思って。それで始めて、最初は子どもたちが来ないんじゃないかと思っていたんですけど、予想に反して沢山来てくれて、ちょっとびっくりしました。

Q　一山地区だけではなくて、他の地区からでも利用できるんですか。

石橋　学 さん